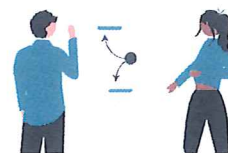


令和6年度 WAM助成シンポジウム



地域社会から 選ばれる存在となるために ～「覚悟」と「哲学」を持った活動を～



「地域共生社会」や「SDGs」が地域に根差したものとなるよう、その実現が求められる段階において、民間福祉活動を行う団体は、いかにして地域社会から選ばれる存在となり、持続的・継続的に地域社会のパートナーとなるかが重要です。

本シンポジウムでは「地域社会から選ばれる存在となるために」をテーマに、これからの民間福祉活動を担う団体の在り方を考えます。

== 配信期間 ==

令和6年

12月2日(月)

令和7年

～1月31日(金)

シンポジウム(配信)内容

構成	内容	登壇者
第1部	WAM助成の概要	WAM助成事務局
第2部	事例紹介	NPO法人はんもつく 代表理事 福井 聖子 氏
		特定非営利活動法人タダカヨ 理事長 佐藤 拓史 氏
第3部	意見交換	恵泉女学園大学 学長 大日向 雅美 氏 福井 聖子 氏 佐藤 拓史 氏 WAM助成事務局
第4部	基調講演	恵泉女学園大学 学長 大日向 雅美 氏

※ 登壇者のプロフィールについては裏面をご覧ください

期間限定配信
視聴無料【要申込み】

▼詳細・お申込みはこちらから▼

右のQRコード、または、
WAMのホームページから
お申込みください



※ 上記QRコードは全ての機器で読み取れることを保証するものではありません。読み取れない場合は恐れいりますが、WAMのホームページからお申込みください。



主催：WAM 独立行政法人福祉医療機構 後援：厚生労働省

〈お問い合わせ〉 NPOリソースセンター-NPO振興課

TEL：03-3438-9942 ホームページ：https://www.wam.go.jp/hp/r6_wam_josei_symposium/

令和6年度シンポジウムのホームページまたは上記QRコードからお申込みください。

地域社会から選ばれる存在となるために ～「覚悟」と「哲学」を持った活動を～



登壇者プロフィール

恵泉女学園大学 学長 大日向 雅美 氏



写真提供：アートスタジオスキ

【プロフィール】

専門は発達心理学。学術博士（お茶の水女子大学）。
1970年代より半世紀余りにわたって日本社会の母性観の問題を研究。
女性の人生課題の解決と共に、NPO法人あい・ぽーとステーション
代表理事として、地域の子育て家族支援活動にも従事。
男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰（2016年）
NHK放送文化賞（2019年）ほか受賞。

NPO法人はんもつく 代表理事 福井 聖子 氏



【プロフィール】

大学卒業後10年間小児科医として勤務、その後8年間3児の母、専業主婦となる。
1997年子育て支援任意団体はんもつくに参加、その後行政の諸会議委員、大学非常勤講師、PTA会長、箕面市教育委員の職を経て、
2013年よりNPO法人はんもつく代表理事、大阪府小児救急電話相談上本町事務所長。（一社）大阪小児科医会副会長。

特定非営利活動法人タダカヨ 理事長 佐藤 拓史 氏



【プロフィール】

普段は、特養やグループホーム等を経営する社会福祉法人に勤務。
コロナ禍に、国からの特別定額給付金を投じて「オンライン面会」を普及させるボランティア活動を実施。
多くの人に感謝された事をきっかけに、介護事業所に対して無料ICTツールの普及活動を行う特定非営利活動法人タダカヨを設立。
役員報酬は実質ゼロ円（タダカヨへ全額寄付）。



～WAM助成にご興味をお持ちいただけただけの方へ～

X (Twitter)やFacebookにて、NPOの活動や福祉活動に関するお役立ち情報など
随時更新しています。ぜひ、ご覧ください！《アカウント名：WAM助成》

WAM助成事業(社会福祉振興助成事業)については下記URLをご参照ください。
<https://www.wam.go.jp/hp/cat/wamjosei/>

WAM助成

検索

